

第 36 期

事業報告書

平成 13 年 10 月 21 日 ~ 平成 14 年 10 月 20 日



2003 年総合カタログ表紙モデル / 細川直美

目 次

| | | |
|-------|-------|----|
| ごあいさつ | | 1 |
| 営業の概況 | | 2 |
| 会社の概況 | | 4 |
| 貸借対照表 | | 7 |
| 損益計算書 | | 8 |
| 利益処分 | | 12 |

ごあいさつ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び
申し上げます。

平素は、格別のご支援を賜り厚くお礼申しあげま
す。

このたび当社は第 36 期営業年度（平成 13 年 10
月 21 日から平成 14 年 10 月 20 日まで）を終了いた
しましたので、次のとおり営業の経過および成果と
主要項目についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご指導
とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 15 年 1 月

取締役社長 **大川博英**

営業の概況

(平成 13 年 10 月 21 日から
平成 14 年 10 月 20 日まで)

営業の経過および成果

当期におけるわが国経済は、アジア・米国向け輸出の好調による外需要因により、生産の一部に回復傾向がみられたものの、デフレが進行する中、雇用・所得環境の悪化から個人消費が伸び悩み、民間設備投資も減少するなど不況色を強めつつ推移いたしました。

当業界も需要の減少に加え、海外商品の流入による販売価格の下落が続き、企業間競争も一段と激化する厳しい状況の中で終始しました。

このような状況の中で、当社は市場別営業を強化するとの観点から、より専門性を高めた提案型営業の展開と、コスト競争力のある商品開発に努めました。

まずオフィスインテリア部門につきましては、OEM商品の充実、環境適応商品の開発に努めました結果、売上高は 4,338 百万円（前期比 0.3%減）となりました。

店舗インテリア部門は主として、中国、東南アジア各国からの海外調達品の拡大によるコスト競争力の強化と、新たな販売チャネルの開拓による外食店舗ビジネスの育成に努めました結果、売上高は 4,313 百万円（前期比 2.2%増）となりました。

施設インテリア部門は、北欧家具・国産オリジナル家具等の各種施設向商品を充実し、施設別カタログ「医療高齢者施設編」「2002 業務用カタログ」「エースベッドカタログ」「フィエラカタログ」を発行するなど、営業をきめ細かく展開した結果、売上高は 4,920 百万円（前期比 2.5%増）となりました。

ホームインテリア部門は、長年培った海外調達力を生かし、デザイン性に優れ、かつコストパフォーマンスの高い商品開発を行い、新たな顧客の開拓に努めました。これらの商品を「ワールドホームカタログコンテンポラリー版」「ワールドホームカタログトラディショナル版」に収録し、ホーム家具市場での競争力強化に努めました結果、売上高は 3,369 百万円（前期比 4.6%増）となりました。

一方、国内仕入商品の調達コストの引下げ、経費の圧縮にも努め、収益力の向上にも注力した結果、当期の業績につきましては売上高 18,322 百万円（前期比 0.9%増）、営業利益 1,236 百万円（同 27.3%増）、経常利益 1,276 百万円（同 25.8%増）となりましたが、投資有価証券評価損 1,632 百万円を計上したため、当期損失は 284 百万円となりました。

品目別売上高は次のとおりであります。

| 品 目 | 第 35 期 | 第 36 期 | 増 減 率 |
|-----------|-----------------------------|-----------------------------|-------|
| | (12.10.21 から 13.10.20 まで) | (13.10.21 から 14.10.20 まで) | |
| | 百万円 | 百万円 | % |
| オフィスインテリア | 4,352 | 4,338 | 0.3 |
| 店舗インテリア | 4,219 | 4,313 | 2.2 |
| 施設インテリア | 4,800 | 4,920 | 2.5 |
| ホームインテリア | 3,222 | 3,369 | 4.6 |
| 機器・その他 | 1,556 | 1,380 | 11.3 |
| 合 計 | 18,152 | 18,322 | 0.9 |

設備投資および資金調達の状況

当期の設備投資の総額は 24 百万円となり、この設備に要した資金は自己資金により充當いたしました。

営業成績および財産の状況の推移

| 区 分 | 期 別 | 第 33 期 | 第 34 期 | 第 35 期 | 第 36 期 |
|---------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|--------|
| | (10.10.21 から 11.10.20 まで) | (11.10.21 から 12.10.20 まで) | (12.10.21 から 13.10.20 まで) | (13.10.21 から 14.10.20 まで) | |
| 売 上 高 (百万円) | | 15,708 | 16,937 | 18,152 | 18,322 |
| 当期利益 (百万円) | | 646 | 615 | 501 | 284 |
| 1 株当たり当期利益(円) | | 43.02 | 41.72 | 35.00 | 20.20 |
| 総 資 産 (百万円) | | 28,269 | 25,478 | 25,406 | 25,419 |
| 純 資 産 (百万円) | | 15,260 | 15,972 | 15,524 | 15,301 |

(注) 1 株当たり当期利益は期中平均発行済株式総数で算出し、小数点以下第 3 位を四捨五入しております。なお、第 36 期につきましては、自己株式控除後の株式数により算出しております。

今後の課題

次期の見通しにつきましては、デフレや不良債権処理等の日本経済の構造的な問題の解決には相当の時間を要し、景気は先行き不透明な状況で推移するものと思われ、業界をとりまく環境は引続き厳しいものと予想されます。

このような状況の中で当社は、海外調達の拡大による調達コストの引下げ、オリジナル性の高い商品の開発、専門性を一段と高めた提案型営業の展開により、営業基盤の拡充に努めると共に収益基盤の強化に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申しあげます。

会社の概況 (平成 14 年 10 月 20 日現在)

設 立 昭和 42 年 12 月 21 日

事業内容 総合インテリア製造・販売および設計・施工

資本金 63 億 6,249 万 8,520 円

営業所および工場

本 店 愛知県岡崎市

支 店 札幌、仙台、北関東、東京、名古屋、北陸、大阪、中四国、福岡

営 業 所 青森、宇都宮、新潟、高崎、水戸、さいたま、千葉、立川、横浜、長野、
沼津、静岡、浜松、豊橋、金沢、京都、岡山、広島、高松、松山、北九州、
鹿児島

工 場 豊橋、岡崎

海外拠点

アメリカ オリバーアメリカ・インターナショナル INC .

ニュージーランド オリバーファーム・ニュージーランド LTD .

株式の状況

会社が発行する株式の総数 48,693,000 株

発行済株式の総数 14,156,053 株

当期間の株式名義書換件数 44 件

当期間の株式名義書換株数 2,425,453 株

当期末の株主数 909 名

所有数別状況

| 区 分 | 株 主 数 | 株主数比率 | 株 式 数 | 株式数比率 |
|----------|-------|-------|--------------|--------|
| 100 単元以上 | 25 名 | 2.8 % | 10,501,219 株 | 74.2 % |
| 10 単元以上 | 94 | 10.3 | 2,907,250 | 20.5 |
| 1 単元以上 | 390 | 42.9 | 692,638 | 4.9 |
| 1 単元未満 | 400 | 44.0 | 54,946 | 0.4 |
| 合 計 | 909 | 100.0 | 14,156,053 | 100.0 |

所有者別状況

| 区 分 | 株 主 数 | 株主数比率 | 株 式 数 | 株式数比率 |
|---------|-------|--------|-------------|--------|
| 個 人 | 707 名 | 77.8 % | 3,318,022 株 | 23.4 % |
| 金 融 機 関 | 25 | 2.7 | 4,159,125 | 29.4 |
| その他国内法人 | 176 | 19.4 | 6,677,906 | 47.2 |
| 外 国 人 | 1 | 0.1 | 1,000 | 0.0 |
| 合 計 | 909 | 100.0 | 14,156,053 | 100.0 |

地域別分布状況

| 区 分 | 株 主 数 | 株主数比率 | 株 式 数 | 株式数比率 |
|-------|-------|-------|-------------|--------|
| 関 東 | 89 名 | 9.8 % | 3,452,234 株 | 24.4 % |
| 中 部 | 694 | 76.4 | 9,650,867 | 68.2 |
| 近 畿 | 81 | 8.9 | 856,984 | 6.1 |
| その他国内 | 44 | 4.8 | 194,968 | 1.3 |
| 外 国 | 1 | 0.1 | 1,000 | 0.0 |
| 合 計 | 909 | 100.0 | 14,156,053 | 100.0 |

大 株 主 (上位 10 名)

| 株 主 名 | 当社への出資状況 | | 当社の当該大株主への出資状況 | |
|---------------------|----------|--------|----------------|------|
| | 持 株 数 | 持株比率 | 持 株 数 | 持株比率 |
| 大 川 株 式 会 社 | 3,710 千株 | 26.2 % | - 千株 | - % |
| 株 式 会 社 UFJ 銀 行 | 707 | 5.0 | - | - |
| 株 式 会 社 み ず ほ 銀 行 | 701 | 5.0 | - | - |
| 糸 眞 一 | 579 | 4.1 | - | - |
| 株 式 会 社 東 京 三 菱 銀 行 | 435 | 3.1 | - | - |
| 株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行 | 435 | 3.1 | 97 | 0.0 |
| オ リ バ ー 取 引 先 持 株 会 | 402 | 2.8 | - | - |
| 大 川 三 千 代 | 319 | 2.3 | - | - |
| 大 川 淳 子 | 318 | 2.3 | - | - |
| 豊 田 通 商 株 式 会 社 | 279 | 2.0 | 1 | 0.0 |

従業員の状況

| 従業員数 | | 前期末比増減 | 平均年齢 | 平均勤続年数 |
|------|------|--------|-------|--------|
| 男性 | 265名 | 10名増 | 35.3歳 | 10.9年 |
| 女性 | 76名 | 10名減 | 34.0歳 | 8.4年 |
| 合計 | 341名 | - | 35.0歳 | 10.3年 |

企業結合の状況

該当事項はありません。

役員

| | | | |
|--------------|------|--------|------|
| 取締役社長（代表取締役） | 大川博美 | 取締役副社長 | 中根研吉 |
| 専務取締役 | 黒川幸雄 | 専務取締役 | 大川実 |
| 常務取締役 | 木下勲 | 取締役 | 福岡博之 |
| 取締役 | 村上周一 | 取締役 | 菅原一信 |
| 取締役 | 黒屋洋明 | 取締役 | 大川和昌 |
| 常勤監査役 | 三好威宏 | 監査役 | 神尾英雄 |
| 監査役 | 大島俊明 | 監査役 | 内田安彦 |

（注）常勤監査役三好威宏氏、監査役神尾英雄氏、監査役大島俊明氏および監査役内田安彦氏は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

貸借対照表

(平成14年10月20日現在)

(単位：千円)

| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
|----------------|------------|----------------------|-------------|
| 資 産 の 部 | | 負 債 の 部 | |
| 流 動 資 産 | 13,732,295 | 流 動 負 債 | 9,728,614 |
| 現金及び預金 | 6,632,547 | 支払手形 | 4,085,486 |
| 受取手形 | 2,394,943 | 買掛金 | 1,170,641 |
| 売掛金 | 3,049,037 | 短期借入金 | 3,000,000 |
| 商品 | 609,926 | 一年内返済予定長期借入金 | 466,400 |
| 製品 | 87,612 | 未払金 | 100,576 |
| 原材料 | 219,422 | 未払消費税等 | 59,675 |
| 前渡金 | 25,237 | 未払法人税等 | 19,673 |
| 前払費用 | 16,647 | 未払費用 | 142,701 |
| 未収入金 | 265,991 | 預り金 | 27,911 |
| 繰延税金資産 | 40,767 | 賞与引当金 | 220,000 |
| 通貨スワップ等 | 432,528 | 繰延ヘッジ利益 | 435,464 |
| その他の流動資産 | 5,631 | その他の流動負債 | 84 |
| 貸倒引当金 | 48,000 | 固 定 負 債 | 388,935 |
| 固 定 資 産 | 11,687,090 | 長期借入金 | 234,000 |
| 有形固定資産 | 5,928,916 | 退職給付引当金 | 144,105 |
| 建物 | 2,962,467 | 預り保証金 | 10,830 |
| 構築物 | 33,194 | | |
| 機械及び装置 | 4,230 | | |
| 車両運搬具 | 40,666 | | |
| 工具器具及び備品 | 102,743 | | |
| 土地 | 2,785,613 | | |
| 無形固定資産 | 21,911 | | |
| ソフトウェア | 1,812 | | |
| 電話加入権 | 20,098 | | |
| 投 資 等 | 5,736,261 | | |
| 投資有価証券 | 3,201,216 | | |
| 子会社株式 | 395,406 | | |
| 出資金 | 2,415 | | |
| 破産更生等債権 | 64,910 | | |
| 長期前払費用 | 10,720 | | |
| 保険積立金 | 1,255,480 | | |
| 繰延税金資産 | 593,073 | | |
| ゴルフ会員権等 | 201,470 | | |
| その他の投資等 | 72,344 | | |
| 貸倒引当金 | 60,775 | | |
| 資 産 合 計 | 25,419,385 | 負 債 合 計 | 10,117,549 |
| | | 資 本 の 部 | |
| | | 資 本 金 | 6,362,498 |
| | | 資 本 剰 余 金 | 5,401,276 |
| | | 資本準備金 | 5,401,276 |
| | | 利 益 剰 余 金 | 3,826,080 |
| | | 利益準備金 | 192,815 |
| | | 別途積立金 | 3,300,000 |
| | | 固定資産圧縮積立金 | 14,965 |
| | | 当期末処分利益 | 318,299 |
| | | (うち当期損失) | (284,774) |
| | | その他有価証券評価差額金 | 107,345 |
| | | 自 己 株 式 | 180,674 |
| | | 資 本 合 計 | 15,301,835 |
| | | 負 債 ・ 資 本 合 計 | 25,419,385 |

(注)記載の金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(平成13年10月21日から
平成14年10月20日まで)

(単位：千円)

| 科 目 | | 金 | 額 |
|--------------|--------|------------|------------|
| 経常損益の部 | 営業収益 | | 18,322,638 |
| | 営業費用 | 18,322,638 | |
| | 営業利益 | | 17,085,655 |
| | 営業外収益 | | 1,236,983 |
| | 営業外費用 | 13,404,644 | |
| | 経常利益 | 3,681,011 | |
| | 営業外収益 | | 119,977 |
| | 営業外費用 | 29,574 | |
| | 経常利益 | 864 | |
| | 特別利益 | 6,387 | |
| 特別損益の部 | 特別損失 | 23,503 | |
| | 特別利益 | 35,188 | |
| | 特別損失 | 24,459 | |
| | 特別利益 | 66,834 | |
| | 特別損失 | 13,235 | |
| | 特別利益 | 12 | |
| | 特別損失 | 12 | |
| | 特別利益 | 2,666 | |
| | 特別損失 | 1,632,376 | |
| | 特別利益 | 34,782 | |
| 特別損失 | 27,500 | | |
| 特別利益 | 1,500 | | |
| 税引前当期損失 | | | 421,921 |
| 法人税・住民税及び事業税 | | | 97,166 |
| 法人税等調整額 | | | 234,313 |
| 当期損失 | | | 284,774 |
| 前期繰越利益 | | | 655,858 |
| 中間配当額 | | | 52,784 |
| 当期末処分利益 | | | 318,299 |

(注) 記載の金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

注 記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準および評価方法

| | |
|---------------------|--|
| 子会社株式 | 移動平均法に基づく原価法 |
| その他の有価証券 時価のあるもの | 決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定) |
| 時価のないもの | 移動平均法に基づく原価法 |

(2) デリバティブ等の評価基準及び評価方法

| | |
|--------|-----|
| デリバティブ | 時価法 |
|--------|-----|

(3) 棚卸資産の評価基準および評価方法

| | |
|--------|--------------|
| 商品・原材料 | 移動平均法に基づく原価法 |
| 製 品 | 総平均法に基づく原価法 |

(4) 固定資産の減価償却の方法

| | |
|--------|--|
| 有形固定資産 | 定率法 ただし、平成 10 年 4 月 1 日以降取得した建物 (建物附属設備を除く)については、定額法 |
| 無形固定資産 | 自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間(5年)に基づく定額法 |

(5) 引当金の計上基準

| | |
|---------|---|
| 貸倒引当金 | 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収不能見込額を計上しております。 |
| 賞与引当金 | 従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。 |
| 退職給付引当金 | 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき計上しております。 なお、会計基準変更時差異については、5年による按分額を当期の退職給付費用と相殺しております。 数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により翌事業年度から費用処理することとしております。 |

(6) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(7) ヘッジ会計の方法

金利スワップ取引について、特例処理の要件を満たしている場合は特例処理を採用しております。また、通貨スワップ取引および通貨オプション取引については振当処理を採用しております。

(8) 消費税等の会計処理方法

消費税および地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

| | | |
|--|----------------|---|
| 2. 子会社に対する金銭債務 | 短期金銭債務 | 304 千円 |
| 3. 重要な外貨建資産 | 預 金 | 155,189 千円 〔 1,239 千米ドル 〕 |
| | 投資有価証券 | 83,867 千円 〔 669 千米ドル 〕 |
| | 子 会 社 株 式 | 395,406 千円 〔 2,000 千米ドル 2,370 千 NZ ドル 〕 |
| 4. 有形固定資産の減価償却累計額 | | 2,823,681 千円 |
| 5. 保険差益圧縮記帳累計額 | | 111,355 千円 |
| 6. 貸借対照表に計上した固定資産のほか、電子計算機およびその周辺機器については、リース契約により使用しております。 | | |
| 7. 退職給付債務等 | 退職給付債務 | 520,928 千円 |
| | 年金資産 | 290,881 千円 |
| | 会計基準変更時差異の未処理額 | 36,885 千円 |
| | 未認識数理計算上の差異 | 122,826 千円 |
| | 退職給付引当金 | 144,105 千円 |

| | | |
|----------------|-------|------------|
| 8 . 保証債務 | | 282,900 千円 |
| 9 . 1 株当たり当期損失 | | 20 円 20 銭 |
| 10 . 子会社との取引高 | 仕 入 高 | 644,026 千円 |

(追加情報)

1 . 資本の部の区分

当期から資本の部は「商法施行規則」(平成 14 年 3 月 29 日法務省令第 22 号)附則第 3 条に基づき、資本金、資本剰余金、利益剰余金およびその他の項目に区分して表示しております。

2 . 期末日満期手形

期末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済しております。なお、当期末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が期末残高に含まれております。

| | |
|---------|------------|
| 受 取 手 形 | 125,198 千円 |
| 支 払 手 形 | 578,360 千円 |

利 益 処 分

(単位：円)

| 項 目 | 金 額 |
|------------------|-------------|
| 当 期 未 処 分 利 益 | 318,299,586 |
| 固定資産圧縮積立金取崩額 | 987,755 |
| 合 計 | 319,287,341 |
| これを次のとおり処分します。 | |
| 利 益 配 当 金 | 52,394,209 |
| (1株につき普通配当3円75銭) | |
| 次 期 繰 越 利 益 | 266,893,132 |

(注) 平成14年7月9日に52,784,303円(1株につき普通配当3円75銭)の中間配当を実施いたしました。

株主優待のご案内

毎年10月20日現在1,000株以上ご所有の株主各位に対し、下記の要領で「株主優待券」を発行いたします。

| | |
|------|---|
| 発行枚数 | 2枚 |
| 発行時期 | 毎年1月 定時株主総会終結後 (事業報告書に同封してお送りします。) |
| 有効期限 | 翌年1月20日(当社の休業日の場合は前営業日)まで有効 |
| 優待方法 | 優待券ご持参の方に、当社の最新の総合カタログに掲載されている商品について、次の条件で、表示価格より50%割引いたします。 優待券1枚につき1回のご利用に限ります。 なお、1回でご購入される商品点数には制限はありません。 優待価格でのお取扱いは、優待券1枚につき、カタログ表示価格合計100万円までとします。〔100万円を超えるご購入の場合は、50万円(100万円の50%)を割引きます。〕 |

株式のご案内

| | |
|--------------|---|
| 決算期 | 10月20日 |
| 利益配当金受領株主確定日 | 10月20日 |
| 中間配当金受領株主確定日 | 4月20日 |
| 定時株主総会開催時期 | 1月 |
| 公告掲載新聞 | 日本経済新聞 |
| 1単元の株式数 | 1,000株 |
| 上場 | 名古屋証券取引所 市場第二部 |
| 名義書換代理人 | 東京都港区芝三丁目33番1号(〒105-8574) 中央三井信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所 | 名古屋市中区栄二丁目3番6号(〒460-8685) 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店 証券代行部 電話(052)231-1145(代表) |
| 同取次所 | 中央三井信託銀行株式会社 本店および全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店 |

ホームページのご案内

ホームページアドレス

<http://www.oliverinc.co.jp/>

<貸借対照表および損益計算書の掲載ページ>

<http://www.oliverinc.co.jp/kessan/index.html>

営業所のご案内

(平成15年1月17日現在)

| | | | |
|-------|---------------|-------|---------------|
| 本店 | (0564)27-2800 | 名古屋支店 | (052)961-3431 |
| 札幌支店 | (011)866-3770 | 大阪支店 | (06)4705-0150 |
| 仙台支店 | (022)288-2881 | 中四国支店 | (082)294-8090 |
| 北関東支店 | (025)281-0607 | 福岡支店 | (092)473-8030 |
| 東京支店 | (03)5674-9500 | | |

| | | | |
|---------|---------------|--------|---------------|
| 青森営業所 | (017)731-2688 | 静岡営業所 | (054)280-1351 |
| 新潟営業所 | (025)281-0607 | 浜松営業所 | (053)450-7755 |
| 宇都宮営業所 | (028)637-2881 | 金沢営業所 | (076)223-5671 |
| 水戸営業所 | (029)254-5881 | 京都営業所 | (075)525-3566 |
| さいたま営業所 | (048)645-1585 | 神戸営業所 | (078)261-3381 |
| 高崎営業所 | (027)361-1446 | 岡山営業所 | (086)226-4544 |
| 千葉営業所 | (043)247-6122 | 広島営業所 | (082)294-8090 |
| 横浜営業所 | (045)231-2001 | 高松営業所 | (087)861-1226 |
| 立川営業所 | (042)525-9371 | 松山営業所 | (089)923-1964 |
| 長野営業所 | (026)243-9687 | 北九州営業所 | (093)963-1432 |
| 松本営業所 | (0263)26-0381 | 鹿児島営業所 | (099)256-6468 |
| 沼津営業所 | (0559)31-8089 | | |

| | | | |
|-------|---------------|-------|---------------|
| 盛岡出張所 | (019)605-2030 | 富山出張所 | (076)223-5671 |
| 山形出張所 | (023)684-5879 | 福井出張所 | (076)223-5671 |
| 郡山出張所 | (024)932-8805 | 松江出張所 | (0852)31-8793 |
| 三重出張所 | (052)961-3431 | 長崎出張所 | (095)813-8556 |
| 豊橋出張所 | (0532)41-2168 | 熊本出張所 | (096)352-2226 |
| 岐阜出張所 | (058)277-6326 | 沖縄出張所 | (098)860-2009 |

株式会社 オリバー

岡崎本社 愛知県岡崎市藪田一丁目1番地12(〒444-2137)
 TEL 0564 27-2800(代表)

東京本社 東京都江戸川区西葛西六丁目27番19号(〒134-0088)
 TEL 03 5674-9500(代表)